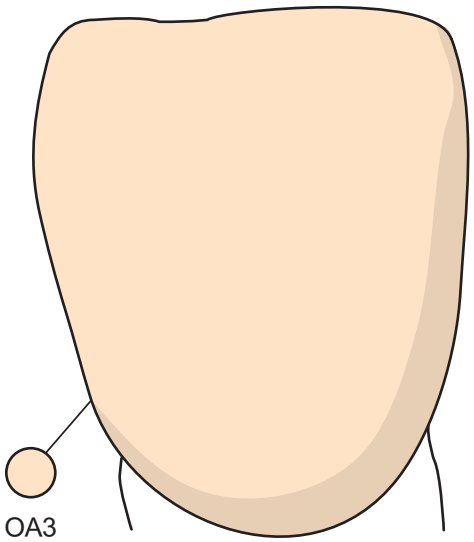
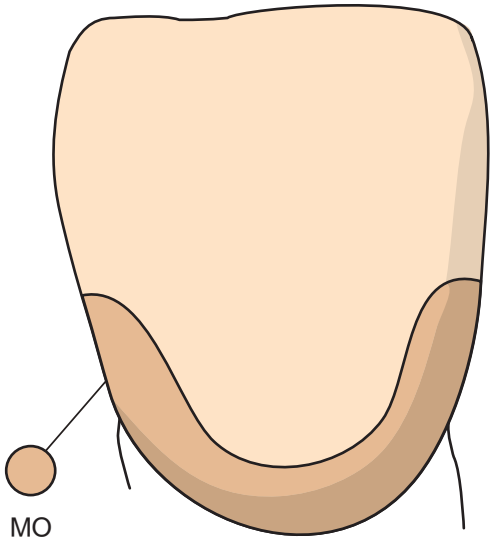
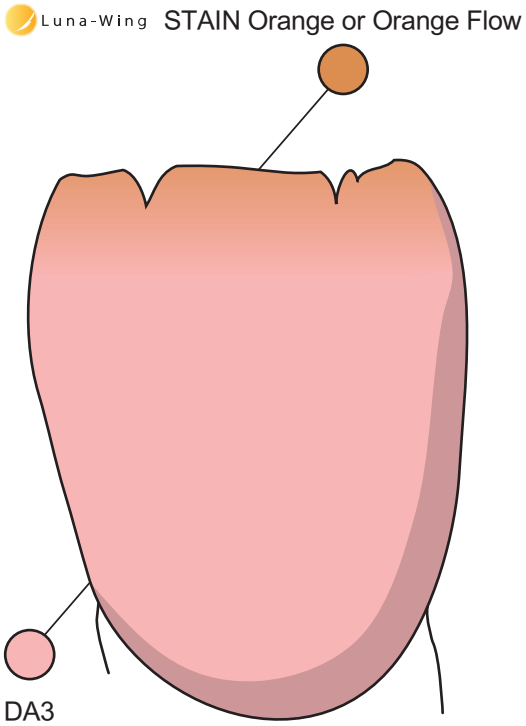


Step 1



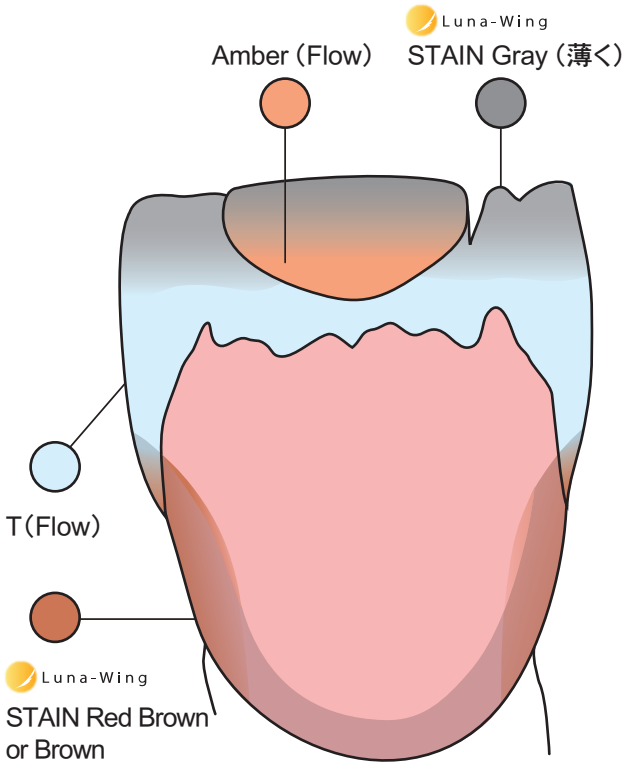
Step 2



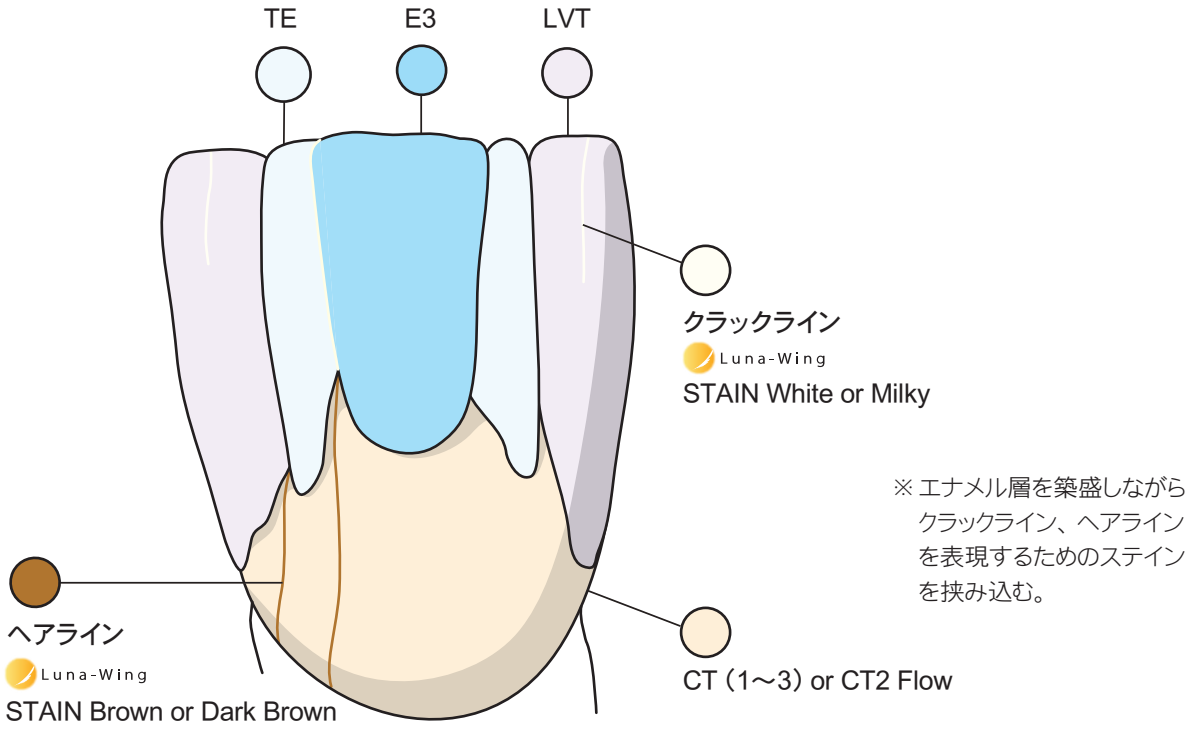
Step 3

Cervical・Internal Effect

Step. 1 プライマーを塗布後、IVO・オペークを塗布、重合します。
Step. 2 オペーク色の反映が強く出る場合等に、MO を歯頸部に使用すると自然な色調表現が行えます。
Step. 3 マメロン付近のオレンジ系の再現としてルナウィングステイン Orange または Orange Flow を塗布、築盛します。



Step 4



Step 5

Internal Effect/Enamel

Step. 4 切縁部にTを築盛し、老年代の切縁部に見られるオレンジ系不透明層を表現するため、Tの上にAmberを築盛します。その後、歯頸部にはルナウィングステインRed Brown、またはBrownを使用して彩度補足をおこない、切縁部分にはルナウィングステインGrayを用いてグレー系透明層を表現します。

Step. 5 歯頸部方向への飴色系透明観のグラレーション表現としてCT（1 〜 3）、またはCT2 Flowを使用します。隣接方向へのエナメル色のグラレーションとしてTE、LVTを使用します。
※Step4 〜 5にはFlowを使用すると容易に築盛することができます。